

建築・都市計画

活躍できる主な試験区分

土木

建築

機械

電気

○名古屋の特性を存分に活かしながら、「暮らす」、「楽しむ」、「創る・働く」という人々のライフスタイルの質を向上させ、多様な人々を惹きつける都市空間を実現することをめざして、市民と共に都市づくりを進めています。

○名古屋を取り巻く状況が大きく変わろうとしている中、リニア中央新幹線の開業に向けた都市機能の強化や都心の魅力づくり、また、大規模公有地を第20回アジア競技大会のメイン選手村として利用した後もレガシー（遺産）として有効活用する、大会を契機としたまちづくりの推進など、様々な事業に取り組んでいます。



新時代の交流拠点を創出する名古屋駅



都心のシンボル空間である久屋大通

建築



経歴
2010年4月～ 住宅都市局 都市計画部 街路計画課 街路調査係
2012年4月～ 住宅都市局 都市計画部 交通企画課 企画調査係
2013年4月～ 住宅都市局 都市計画部 交通企画課 施策推進係
2015年4月～ 住宅都市局 都市計画部 都市景観室 調査企画係
2017年4月～ 住宅都市局 都市計画部 都市景観室 主査(地区景観整備)
2018年4月～ 住宅都市局 都市整備部 まちづくり企画課 主査(公有地開発に係る事業推進)



住宅都市局都市整備部まちづくり企画課 主査

神田 千加子

アジア競技大会を契機として まちづくりを推進

●現在の仕事について教えてください。

まちづくり企画課では、名古屋駅周辺や栄などの都心部を除いた市内のまちづくりの推進に取り組んでいます。

私は、市内の公有地について、まちづくりに資するよう企画・調整し、事業化して有効活用していく業務を担当しています。近年、民間活力を導入する案件が増えており、民間事業者や地域住民と協議調整を行いながら事業を進めています。現在は、2026年に開催される第20回アジア競技大会の選手村予定地となっている名古屋競馬場敷地において、大会の選手村として利用されるだけでなく、大会後もレガシーとして有効活用されるよう、大会を契機としたまちづくりの推進に取り組んでいます。関係者が多く調整が大変なプロジェクトですが、愛知県と協力しながらチーム一丸となって取り組んでいます。

●職場の雰囲気について教えてください。

活気があって雰囲気は非常に良いと思います。スケジュールに沿って事業を成功させるという目標をチームで共有し、日頃からお互いの考えを述べ、議論し、団結して業務に取り組んでいます。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

新しいまちをつくることだけではなく、既にあるまちを再生していくことも大切なミッションであり、継続的にまちに関わることの大切さを実感しています。未来の名古屋市へとつながる仕事と一緒に取り組みましょう。



住宅都市局都市計画部都市計画課地域計画係 技師

澤山 皓亮

土地や建物のルールを決めて 魅力的な都市を形成

●現在の仕事について教えてください。

名古屋駅周辺や栄には大きな建物や商業施設が、郊外には低層の住宅が多く立地しています。このような違いは都市計画制度の中の土地や建物に関するルールによるもので、都市計画課では、20年後の名古屋市の未来を描いた都市計画マスタープランのもとルールを運用し、魅力的な都市の形成を行っています。名古屋駅周辺に建ち並ぶ高層ビルの多くは、実は通常のルールでは建てられないため、建設を希望する事業者と協議・調整のうえルールを緩和して、建設が行われています。

私は、以前の係でこのマスタープランの作成に携わっており、市役所内の多くの関係部署と協議・調整をしながらつくった経験はとても印象に残っています。

●職場の雰囲気について教えてください。

先輩や後輩と気軽に相談することができ、上司にも率直に意見を言える職場です。多くの関係部署と協議・調整する機会が多く、チームで仕事を進めていこうという雰囲気があります。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

都市計画の仕事は、通常では建たない高層ビルを建てられるようにするため、地区限定の特別なルールを決めることができるなど、スケールの大きな事案を扱うことができます。これは、名古屋市という大都市ならではの魅力です。一緒にスケールの大きな仕事に挑戦しましょう。



建築

経歴	2010年4月～	住宅都市局 まちづくり企画部 まちづくり企画課 企画係
	2012年4月～	住宅都市局 まちづくり企画部 まちづくり企画課 地域まちづくり係
	2014年4月～	住宅都市局 都市整備部 まちづくり企画課 企画係
	2015年4月～	住宅都市局 都市計画部 都市計画課 都市計画係
	2020年4月～	住宅都市局 都市計画部 都市計画課 地域計画係



住宅都市局営繕部設備課電気第一係 技師

足立 達法

電気設備の更新・改修により 既存の建物に新しい命を吹き込む

●現在の仕事について教えてください。

営繕部では、名古屋市が所有する建築物の新築や改修を行っています。私が所属する設備課は、機械設備や電気設備に関する工事が中心で、建築設備設計、工事発注、工事の監理・監督が主な業務になります。

私は、これまでに小学校のリニューアル改修や、東山動植物園の獣舎などの新築・改修などを担当してきました。近年は、建て替えよりも既存の資産を活用しようという動きが盛んで、設備の更新・改修の機会が増えており、建物に新しい命を吹き込むことも私たちの重要な役割となっています。

●職場の雰囲気について教えてください。

20代から30代の若手職員と60代のベテラン職員が中心の職場です。同年代の職員が多いため気軽に仕事の相談ができ、ベテラン職員も知識が豊富で気さくな方ばかりです。非常に恵まれた職場環境だと思います。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

ひとつのことを極めるのではなく、様々な業務を経験できるのが名古屋市の技術職の特長です。仕事を通じて様々な知識が身につくため自分の引き出しが増えていきます。成長を実感したい方に向いている仕事だと思います。



電気

経歴	2011年4月～	名古屋競輪組合(派遣)
	2014年4月～	住宅都市局 建築指導部 建築審査課 構造設備審査係
	2018年4月～	住宅都市局 営繕部 企画保全課 電気計画係
	2019年4月～	住宅都市局 営繕部 設備課 電気第一係

